

子どもを取り巻く有害環境の 怖さや被害を知って対策を進めよう！！

近年、中学生・高校生だけでなく、低年齢層の児童にもインターネットの利用が広まり、平成28年度に内閣府が行った調査(「低年齢層の子供のインターネット利用環境実態調査」)によると10歳未満の児童の39.2%がインターネットを利用しています。

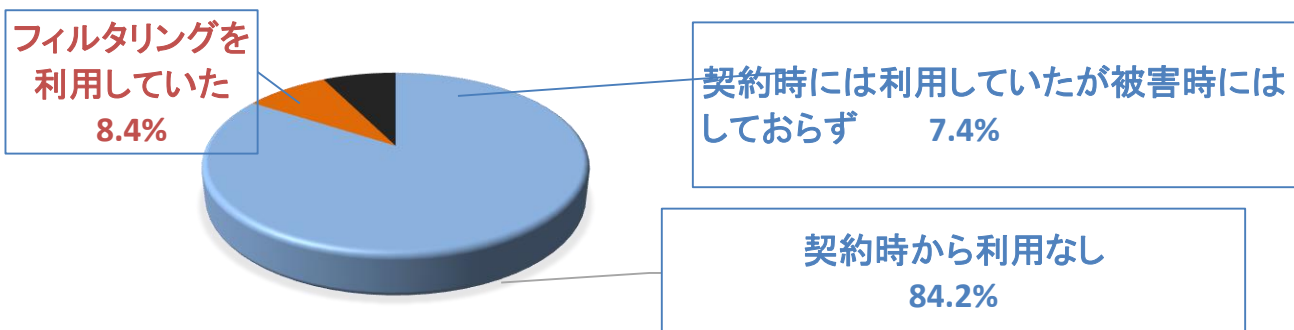
インターネット上には、残酷な暴力シーンや過激な性描写を含むもの等、児童に有害な影響を与える情報が氾濫しているほか、近年、スマートフォン等からSNS等を利用して児童が性犯罪等の被害に遭う事例が多発しています。

なお、被害児童のSNSへのアクセス手段は、スマートフォンが87.7%を占める一方で、犯罪被害防止に有効な手段であるフィルタリングは、被害児童の91.6%が利用していませんでした。

SNSに起因する被害児童数(平成30年)

	児童福祉法違反	青少年保護育成条例違反	児童買春	児童ポルノ	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐	強制わいせつ
件数(全国)	27	749	399	545	3	2	0	32	42	12

SNSに起因する被害児童のフィルタリング利用状況(平成29年)



(平成30年警察庁 少年からのシグナルより)

◆ インターネット利用で取り組む家庭のポイント

- ・子どもにインターネットの危険性を教えましょう！
- ・フィルタリングを必ず利用しましょう！
- ・子どもと一緒に家庭のルールを作りましょう！
- ・保護者がインターネット利用の手本を見せましょう！





夏季特別補導活動を実施(8月2日~3日)

北上市少年センターでは、今年度も『第58回北上・みちのく芸能まつり』及び『ほんまち・しんまち「結」夏祭り』において補導活動を実施しました。

補導活動にあたったのは、市少年センター少年補導員班に加えて、民生児童委員班、地域婦人団体協議会の班の方々です。ご協力に感謝申し上げます。

会場は、児童や生徒のほか、市内外から多くの観光客や家族連れで大変賑わっていました。

また、お酒を楽しんでいる大人の方も大勢いましたが、その中で未成年の「飲酒」を確認し、補導措置しました。



祭りは雰囲気が開放的になるためか、昨年度に引き続き少年による「飲酒」が見られたことは大変残念でした。

北上市少年センターとしては、青少年の健全育成のため、今後も少年補導員の皆様のご協力を得て夏季特別補導活動を実施していきたいと考えています。

少年補導員による愛の一声運動(4月~7月)

声かけ人数は 延べ **2,382人** となりました。

(小学生 806人 中学生 511人 高校生 1,017人 他少年 48人)

巡回日誌

7・3(水) 17時50分
○さくら野百貨店のゲームコーナーに小学生(4名)がいたため「家の人はどこ」と声をかけ、早く帰るよう促した。

7・5(金) 16時30分
○ちようど帰宅時刻と重なる時間帯だったため、人の行き来が多く、駅に向かう高校生や自転車に乗っている学生も見かけたが、特に不審な行動はなかった。

さくら野百貨店では、買い物客の中に小学生もいたが大人と一緒にであった。ゲームコーナーで店の人に聞いたが気になる様子はないとのことだった。

7・11(木) 16時30分
○帰帆船公園では、黒東小5年生男子5人がザリガニ取りをしていた。挨拶も応答もきちんとしていた。さくら野百貨店のゲームコーナーで中学生が太鼓ゲームをしていたため声をかけたところ、市外から来たとのことだった。

7・27(土) 15時
○常盤台七夕祭りには、黒北小の合唱部が参加することもあり、小学生の姿が多く見られた。出店も多く、購入したものを歩きながら食べる児童に対して、用意された椅子に座って食べるよう声をかけた。

また、会場内において自転車に乗る高校生に「あぶないよ」と声をかけたが聞こえなかったようで、スピードを緩めずに通り過ぎていった。